

待合室

静かに音楽が流れ、落ち着いた雰囲気の待合室。

食堂

レストランのようなラウンジ(食堂)。クリニックの食事は、素材の良さを活かしたものを基本にしています。「見た目よりも、材料」にこだわっていることでしたが、和食懐石料理(毎週木曜日)やフランス料理のコース(毎週日曜日)なども用意され、見た目も味も抜群です。また、母乳育児の推進のため、油分や糖分などを押さえた、母乳と赤ちゃんといい食事を提供してくれます。院には、2人の栄養士が常駐しており、栄養相談や食事相談にも応じてくれます。



DATA

- 住所 筑紫郡那珂川町通善 1 丁目36
- TEL 092-953-1111
- http: //www.shimomura.or.jp
- 院長 下村 宏
- 診療時間 月曜～金曜
9:00～12:30
14:00～17:30
水 曜 9:00～12:30
土 曜 9:00～12:30
14:00～15:00
- 休診日 日曜・祝日

MAP



させるのはもちろんですが、相談と説明を欠かさず、ママが納得できる出産を目指しています。母性は「子どもを愛しなさい」と教えられて育つのではなく、ママの心に余裕があれば自然に育つものです。そのために、ママが不安や不満を持たず、気持ちよく出産できる環境づくり、クリニックづくりをスタッフ一同心がけています。ママと生まれてくる赤ちゃんのことを考えた道いがうらしいクリニックです。



シモムラ
医院

生まれてきた赤ちゃんを素直に「かわいい」と
思える母性を育てたい

産科・婦人科
筑紫郡
那珂川町

「産婦人科は、赤ちゃんを出産する場所ですが、それぞれのママが楽しく子育てをしていくための第一歩を踏み出す場所でもあります。産婦人科医は、子育ての基礎となる母性の形成や、親子の信頼関係を育む手伝いができる」と考えています。と語る下村宏院長先生は、一人ひとりの出産を大切にしているのももちろん、新しくママとなる女性の子育ての第一歩をサポートしてくれます。ママが出産にポジティブになることができれば、その後の子育てにもポジティブになれます。赤ちゃんが生まれてきたとき、素直に「うれしい」「かわいい」と喜べる、母性あふれるママになってもいいと思います。先生は20年以上産婦人科医として様々な家族を見ていく中で、ママが持つ母性の重要性を感じたそうです。そのため、シモムラ医院では、分娩直後に赤ちゃんとのスキンシップを持つ「カンガルーケア」の導入や、より良い親子関係と母性を育む「母乳育児」の指導をしています。また、子育てをより楽しいものにしていくためにつくられた「シモムラママの会」は、ベビーマッサージや離乳食についての学べる母乳学級として、そしてママ同士の友だちづくりや、出産を経験した先輩ママと出産を控えたフレマの交流の場、子育て相談ができる場となっています。「医療的な部分では、母子の安全を最優先



■院長
下村 宏
Hiroshi Shimomura

- 1972年 久留米大学大学院医学研究科を卒業。
- 1972～1974年 久留米大学医学部・産婦人科講座・助手。
- 1974～1981年 久留米大学医学部・産婦人科講座・講師。
- 1981年 久留米大学医学部・産婦人科講座・非常勤講師、福岡県筑紫郡那珂川町にて産科婦人科シモムラ医院を開業。
- 1982年1月 現在に至る。

アロマセラピー学会認定医

下村院長先生は、ママたちのストレスケアについて研究し、10年以上前からアロマセラピーを導入しています。多くのママたちの悩みに応じられるように、先生自身が学び、アロマセラピー認定医の資格を持っています。リラックス効果だけでなく、産前産後の、「むくみ」や「かゆみ」といったトラブルの解消から、薬を使いたくないママへの対応など多くの効果があるそうです。



母乳育児で育つ「母性」と「信頼関係」

母乳育児はユニセフとWHOの共同宣言である「母乳育児を成功させるための10か条」に基づいています。母乳が「出る・出ない」は大きな問題ではなく、ママと赤ちゃんとのスキンシップを通して、母性や信頼関係を育んでいくことが大切だとのこと。



妊娠中

バランスの取れた食事と、ウォーキングなどの適度な運動についてのアドバイスをするそうです。希望者にはマタニティスイミングの相談にもなっています。妊娠の期間を楽しむ過ごすためにも、いろいろと相談してみてください。



ママの会

「シモムラママの会」の活動の場として、クリニックには「ママハウス」が併設され、地域の子育てコミュニティスペースとして広く利用されています。時には、プロの音楽家を招いての演奏会が開かれるなど、子育てを楽しむための企画も考えられています。

